

第47回

特定非営利活動法人

日本ベッグ矯正歯科学会大会(北海道)

プログラム抄録



大会長 今井 勝己

実行委員長 山本 耕一

事務局長 栗原 洋平

会期 2026年11月15日(日)

会場 ホテルユキタ

北海道札幌市東区北36条東5丁目3-15

TEL.011-751-3500

主催 特定非営利活動法人 日本ベッグ矯正歯科学会

主管 日本ベッグ矯正歯科学会 北海道支部

【目次】

プログラム	3
お知らせ・お願い	4
特別講演・依頼口演	5
協賛各社一覧	9
広 告	10

第47回特定非営利活動法
日本ベッグ矯正歯科学会大会プログラム

「KBT マルチブラケットシステムによる患者・ドクター共に、やさしい矯正治療を目指して(その 11)」

8:30	受付
8:50 ~ 9:00	開会式
	開会の辞 山本 耕一(大会実行委員長)
	大会長挨拶 今井 勝己
	名誉理事長挨拶 亀田 晃
	理事長挨拶 亀田 剛
9:10 ~ 10:30	特別講演 座長 中台 洋之
	特別講演; 亀田 剛(本部)
	「いま押さえておきたい矯正歯科診療の要点 —KBTシステムから保定管理・医療安全まで—」
	依頼講演 座長 藤巻 秀敏
10:40 ~ 11:00	依頼講演 I ; 田中 文英(九州支部)
11:05 ~ 11:25	依頼講演 II ; 植木 美輪子(本部)
11:30 ~ 11:50	依頼講演 III ; 小川 雄大(北海道支部)
12:00 ~ 13:00	昼食
	各支部紹介 や認定医関係、賞状授与など
13:00 ~	次期大会長挨拶(第 48 回大会長) 西方 淳(新潟KB支部)
	閉会の辞 栗原 洋平(事務局長)

お知らせとお願い

大会参加者へ

1. **事前登録できなかった方**は、大会当日会場入口で受付を行って参加費をお支払い下さい。
2. **ネームカード**は、認定医の申請時に必要ですので、大切に保管して下さい。
3. **ネームカードのケース**は、お帰りの際に受付へお返し下さい。
4. **年会費未納の方**は、大会当日会場入口で、当会事務局へお支払い下さい。

口演発表者へ

1. 口演発表者は、発表時間 12 分、質疑応答時間 3 分といたします。
2. 発表者が登壇すると同時に、次の発表者は次演者席に着席して下さい。
3. パソコンは Win のみで各自ご持参下さい。
各自、発表時間の 30 分前までに受付し、接続、操作は各自で行って下さい。
(Mac 不可)
4. 抄録の内容に変更が生じた場合は、速やかに座長にご連絡下さい。

質問される方へ

1. ご発言は座長の指示に従い、必ず所属、氏名を明らかにして下さい。
2. 質疑応答の時間は 1 演題につき 3 分ですので、簡潔にお願いいたします。

座長の方へ

1. 次座長は、時間になりましたら次座長席へお越し下さい。
2. 発表時間 12 分、質疑応答時間 3 分を厳守して下さい。

特別講演

いま押さえておきたい矯正歯科臨床の要点—KBT システムから保定管理・医療安全まで—

○亀田 剛（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科矯正学講座，本部）

Essential Topics in Modern Orthodontic Practice

- KBT System, Retention Management, and Patient Safety

○KAMEDA Takaashi (Dept. Of Orthodontics, Nippon Dental Univ. at Niigata, Headquarters)

2028 年に本学会は創立 50 周年という節目を迎える。この記念すべき年を見据えながら、本学会が今後果たすべき役割について考察するとともに、さらなる発展に向けた提案を行う。近年、矯正歯科を取り巻く環境は大きく変化しており、治療技術の進歩に加え、保定管理、医療安全および法規制への対応など、臨床家に求められる知識と責任は広範化している。また、患者ニーズの多様化や医療を取り巻く社会環境の変化への対応も重要な課題となっている。本講演では、学会創立 50 周年を見据えた今後の展望を踏まえながら、日常臨床において押さえておくべき事項を整理し、その実践的対応について解説する。

まず、より生体にやさしく効率的で質の高い矯正歯科治療の実現を目的として、KBT マルチブラケットシステムの基本理念と治療メカニクスについて概説する。治療効率の向上と安定した治療結果を得るために重要となる基礎事項を整理し、その臨床的意義について考察する。

次に、動的治療終了後の保定管理について取り上げる。治療結果の長期安定性を確保するための保定装置の選択や使用方法について整理する。

さらに、医療安全の観点から薬機法をはじめとする薬事関連事項について解説する。実際に経験された事例の中から判断が難しいケースを紹介しながら、臨床家が注意すべきポイントを整理する。また、近年注目されている MRI 検査時の歯科矯正装置への対応について、口腔内装置が MRI 画像へ及ぼす影響や安全性に関する問題、一時撤去の必要性とその対応方法について説明する。

加えて、日常診療で広く使用される消毒用アルコールについて、最新の知見を踏まえ、その有効性と限界、有事における対応について述べる。本講演を通じて、安全で効率的かつ質の高い矯正歯科診療の実現に資する知識を共有し、本学会のさらなる発展と次世代への継承に寄与することを目的とするものである。本講演が、本学会会員の臨床の発展に寄与することを期待する。

依頼口演 I

矯正治療における予期せぬトラブルへの多角的な対処の必要性が示された一症例

○田中 文英（たなか歯科医院，熊本，九州支部）

A Case Report Demonstrating the Need for a Multifaceted Approach to
Unexpected Complications in Orthodontic Treatment

○FUMIHIDE TANAKA (TANAKA Dental Clinic, Kumamoto, Kyushu branch)

緒言

成長期の小児では身体的・心理的な変化が大きく、長期にわたる矯正治療では、治療開始時には予測できない問題に遭遇することがある。本症例では、治療経過中に歯列・咬合の変化に加え、患者の協力度低下、他科疾患・検査、さらに災害など、さまざまな問題が生じた。その都度、状況に応じて治療方針を検討し対応した経過を報告する。

なお、2026 年現在も動的治療継続中であり、治療終了時のデータを提示できないことをあらかじめご了承ください。

治療方針

上下顎骨には軽度の劣成長を認めたものの、平均値の境界域で成長が期待できたため、非拔牙による KBT マルチブラケットシステムで治療を開始した。上顎 2”×4” システムにより前歯部叢生を改善し、永久歯の萌出に合わせて順次ブラケットを装着し、歯列・咬合の改善を図った。

治療経過中に遭遇した問題

思春期に伴う協力度低下により、口腔清掃不良やⅡ級ゴムの使用不足を認めた。また、非拔牙にもかかわらず小臼歯萌出後に大きな歯間空隙が生じ、顎の成長に伴い下顎右側臼歯部に交差咬合を認めた。さらに、上顎右側第二大臼歯の転移萌出、下顎両側第二大臼歯の水平埋伏が判明した。一方、右側耳下腺腫瘍の発生により摘出手術が必要となり、術前 MRI 検査では矯正装置の撤去を求められたため、耳鼻科と協議しながら対応した。加えて、熊本地震により一時的に診療継続が困難となった。

考察

長期にわたる矯正治療では、歯列・咬合の変化だけでなく、患者の心理的变化、他科疾患や検査・治療、災害など、歯科領域を超えた予期せぬ問題に直面し得る。

こうした不測の事態に対応するには、患者・家族との信頼関係を基盤に、幅広い知識を身につけ、必要に応じて他科や専門家と連携しながら、状況に応じて柔軟に対応することが重要である。本症例は、矯正治療における予期せぬトラブルへの多角的対応の必要性が示された一症例である。

依頼口演Ⅱ

発達障害児に対する心理面への配慮と口腔機能訓練を経て矯正治療へ移行した一症例

○植木 美輪子(植木歯科医院 神奈川県 本部)

A Case of Orthodontic Treatment in a Child with Developmental Disabilities Following Psychological Support and Oral Function Training

○Miwako UEKI (Ueki Dental Clinic Kanagawa Headquarters)

【概要】

患者は出生時体重 822 g の男性、初診時 8 歳 5 か月、現在 14 歳 9 か月、体重 60 kg で、知的障害を伴う発達障害を有する。主訴は、口腔ケア、歯列不正、著しいいびき、食べ方の改善であった。初診時は Hellman の歯齢 IVA 期、Angle I 級（III 級傾向）、ローアングルを呈し、パノラマ X 線写真では永久歯胚の異常および欠損歯を認めなかった。

【治療経過】

発達特性を考慮し、患者本人の心理面に配慮した長期的なアプローチを行いながら、まず可撤式矯正装置を用いた機能訓練を開始した。鼻呼吸の獲得、舌位および口腔周囲筋機能の改善を図り、約 3 年間継続した結果、鼻呼吸や舌位の改善が認められ、治療を継続する中で言語面にも改善がみられた。

一方、治療開始当初は口腔内への装置装着に対する抵抗が強く、固定式装置による本格的な矯正治療への移行には時間を要した。また、知的障害のため、X 線撮影時に指示された姿勢を維持することが困難な場面も認められた。約 3 年間の機能訓練と心理面への配慮を継続し、患者本人の成長とともに治療への適応が得られたため、12 歳 8 か月より非抜歯による KBT マルチブラケットシステムへ移行した。上顎から治療を開始し、特に上顎前歯部に十分な咬合挙上を行った。オーバージェットの減少を目的に顎間Ⅱ級ゴムを併用したが、24 時間の継続使用は困難であった。

【考察】

本症例では、発達特性から固定式装置による矯正治療を早期に開始することは困難であった。しかし、治療を急がず、機能訓練と心理面への配慮を継続しながら患者本人の成長と適応を待つことで、最終的にマルチブラケット治療へ移行することができた。また、成長発育期に非抜歯治療を開始することで、成長を利用した矯正治療が可能となった。発達障害児の矯正治療では、歯列・咬合だけでなく、口腔機能、心理面および治療への適応能力を考慮し、患者本人のペースに合わせて段階的に治療を進めることが重要であると考えられた。

依頼口演Ⅲ

顎顔面口腔機能を考慮した包括的矯正治療

—気道形態の維持と成長期の栄養状態に着目した2症例—

○小川雄大（アスティ口腔科歯科クリニック，北海道支部）

Comprehensive Orthodontic Treatment Considering Craniofacial and Oral Function—
Two Cases Focusing on Airway Morphology and Nutritional Status During Growth—

○YUDAI OGAWA (Asty Oral Dental Clinic, Hokkaido branch)

【目的】

顎顔面および歯列・咬合の生理的機能の獲得には、局所的な口腔形態だけでなく、鼻咽腔を含む気道構造、口腔周囲筋機能、全身姿勢、成長期の栄養状態など、多様な因子が関与する。本報告では、非抜歯矯正治療により歯列不正を改善しつつ咽頭気道形態の維持を図った症例と、口唇閉鎖不全を呈する小児に対して栄養学的評価に基づく全身的介入を併用している症例を提示し、顎顔面口腔機能を包括的に捉えた矯正治療について考察する。

【症例】

症例1：18歳女性。上顎歯列弓の狭窄および上顎鞍状歯列弓を認め、非抜歯による矯正治療を開始した。治療に際しては歯列弓形態の改善だけでなく、気道形態にも配慮した。その結果、上咽頭から下咽頭にわたる気道の狭窄を認めることなく歯列形態の改善が得られ、気道との関連を考慮した矯正治療の重要性が示唆された。

症例2：8歳女児。口唇閉鎖不全（ぽかん口）を主訴に来院した。口唇閉鎖時のオートガイ筋過緊張、低位舌、不良姿勢および軽度のアデノイド肥大を認めた。本症例では、口腔筋機能療法（MFT）による局所的アプローチに加え、成長発育期の栄養状態を評価し、その改善を図る全身的介入を組み込んだ治療を進めている。

【考察】

顎顔面口腔機能の獲得・維持には、歯列や口腔周囲筋に対する局所的なアプローチだけでなく、気道通気性、姿勢制御、栄養状態などを含めた多面的な評価が重要である。特に成長発育期では、栄養状態を含めた全身的な介入が骨格および筋機能の発育に影響し、将来的な顎顔面口腔機能の安定につながる可能性がある。本報告の2症例を通じ、歯列・咬合のみを対象とするのではなく、気道、筋機能、姿勢および栄養を含めて顎顔面口腔機能を捉える包括的な矯正治療の重要性を提案する。

協賛会社一覧

〈掲載〉

東京臨床出版 株式会社

〒 541-0053 大阪府大阪市中央区本町1-1-3 本町橋西ビル 7F
TEL 06-6264-7136 FAX 06-6264-7137

有限会社 万豊

〒 481-0011 愛知県北名古屋市高田寺砂場35-1
TEL 0568-24-5931 FAX 0568-24-5992

〈掲載・展示〉

株式会社 JM Ortho

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水杏雲ビル 14F
TEL 03-5281-4711 FAX 03-5281-4716

有限会社 バルビゾン

〒 273-0005 千葉県船橋市本町5-8-5 アメニティプラザ 103号
TEL 047-460-7818 FAX 047-460-7819

書籍案内

術式からマネジメントまで-矯正歯科臨床の総合情報誌

月刊「矯正臨床ジャーナル」

毎月1日発行 / 編集提携：JOURNAL of CLINICAL ORTHODONTICS=JCO (U.S.A.)



本誌の主な内容

- わが国唯一の矯正歯科臨床総合情報誌（月刊）です。
治療術式を中心に、患者管理、スタッフ教育、学会・セミナー情報や新製品情報、医療界情報など、臨床応用性の高い最新の歯科矯正情報を提供しています。
- 充実の学術記事（臨床系を中心に）
 - ・矯正治療の主要な術式（エッジワイズ、ラビアル/リンガル）を中心に、機能的装置およびCPAを併用した治療、インプラント矯正、あるいは外科的矯正、歯周/カリエス対応の矯正治療など包括医療の視点に立った隣接他科との連携治療などについてのトークや学術論文、症例報告、器材情報など。
- 便利な周辺情報
 - ・学会・セミナーの情報、医療界・医療行政情報、医療関連統計など、臨床研鑽やマネジメントに有益な情報を提供。
- 主なマネジメント記事
 - ・各界の専門家へのインタビューを中心に多角的に矯正歯科診療所の運営を考える誌上フォーラムや、随時掲載の法務・税務・労務相談や、マーケティング情報など。

■A4変型判（フルカラー）

〔定価〕3,300円（本体3,000円＋税） 年間購読料（12冊）39,600円（36,000円＋税）

先生の満足する物を作り
患者を笑顔に

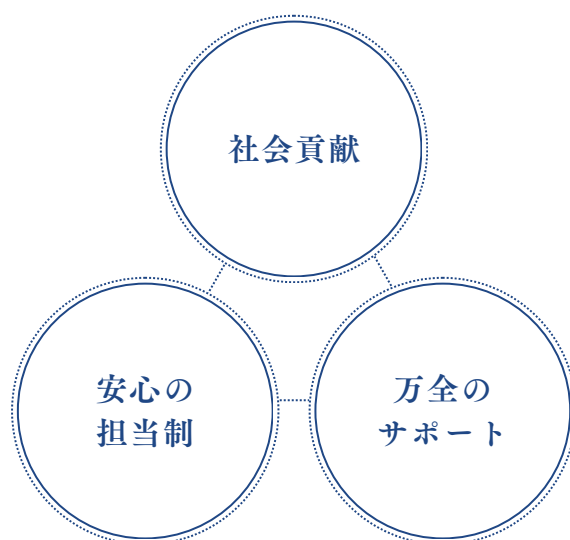
価値ある技術、輝く笑顔へ

社会に貢献する ビジネスパートナー

私たちは、専門医のご指導のもと、高品質な矯正装置を
先生方にお届けします。

先生方とのコミュニケーション、サポートはもちろん、
その先にいる患者様の笑顔・健康を第一に技工に取り
組んでいます。

蓄積した経験と資料による万全なサポート体制で、
安心な矯正治療を応援します。



有限会社 万豊Lab

【所在地】〒481-0011 愛知県北名古屋市高田寺砂場35-1

【メール】manpou.lab@gmail.com

【電話番号】0568-24-5931

【公式サイト】<https://www.manpou.co.jp>

【お問い合わせ】サイトもしくは電話番号からご連絡ください。

※ご相談は無料です。お気軽にご連絡ください。



「すべては患者さんのために」

目指したのは3つのS

- Simple : 構成や術式がシンプル
- Smart : 問題が起きにくい洗練された形態
- Speedy : すべてがスピーディ



KBTマルチブラケット/チューブシステム

Minimal Intervention と Minimum Compliance を実現し、初心者には簡単に、熟練者には応用を利かせられる、従来の様々なシステムのいいところ取りの 2+1 スロット Begg システム

ワイヤーを唇側から覆うラピアルプレートが
高い審美性と、快適性の高い装着感、
迅速な叢生除去を実現

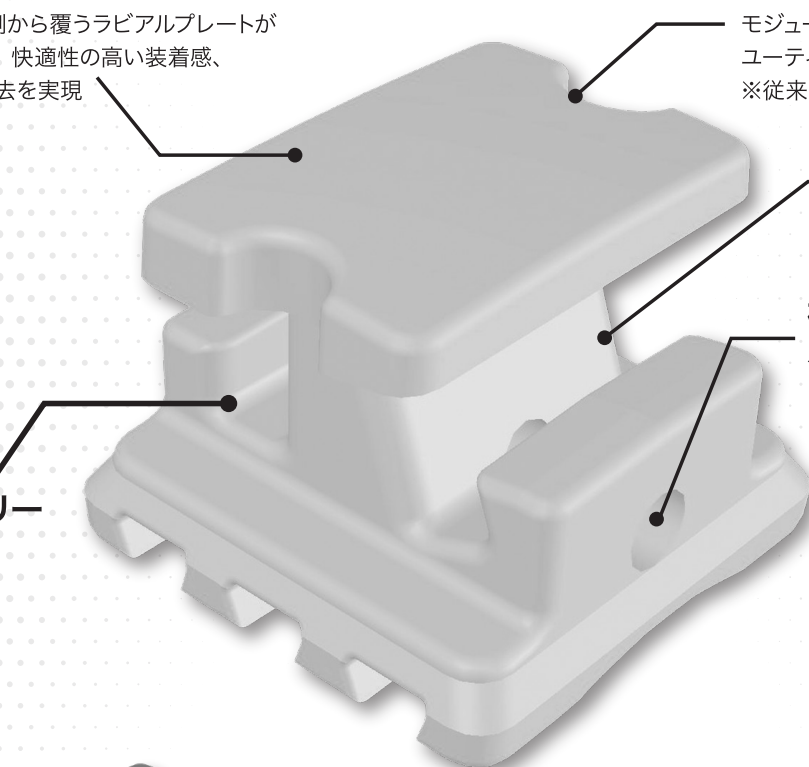
モジュールを着脱しやすい
ユーティリティノッチ
※従来の金属製ピンは使用しません

**-20° リバーストルク
スロット**
(.019" x .025")

**様々な状況で応用できる
バーティカルスロット**
(.020"φ)

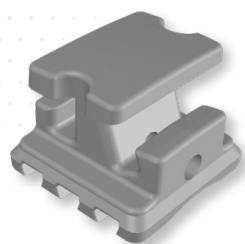
- ・ワイヤーベンディングは基本的に必要ありません
- ・ワイヤーサイズにより、術者がフリクションフリーから摩擦の大きさを調節することができます
- ・使用するワイヤー (~ .018" X .025") は、エッジワイズシステムと共通です
- ・より長いブラケット (チューブ) 間距離を確保しています

**0° オーディナリー
スロット**
(.019" x .025")

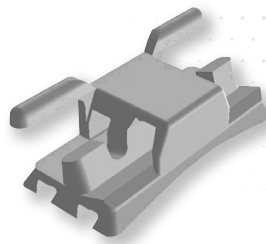


KBT ジルコニアブラケット

ブラケットは同形状、同サイズの 2 種類
チューブは 1 種類 の計 3 種類のみ



KBT メタルブラケット



KBT チューブ

特許 5542516 (ブラケット)
特許 5530792 (チューブ)

KBTマルチブラケット/チューブシステム

包装：10個

			トルク	スパン	商品番号	標準価格	ベッグ会員価格
	KBTジルコニアブラケット*1		0° / -20°	3.20	KBT-ZB1	¥12,000	¥10,000
	KBTメタルブラケット*2		0° / -20°	3.20	KBT-MB1	¥6,500	¥5,400
	KBTチューブ*3		0° / -20°	5.45	KBT-MT2	¥7,700	¥6,400

*1 販売名：KBTジルコニアブラケット 一般的名称：歯列矯正用アタッチメント 医療機器承認番号：223AKBZX00099000 医療機器の分類：管理医療機器(クラスⅡ)

*2 販売名：KBT 一般的名称：歯列矯正用アタッチメント 医療機器承認番号：223AKBZX00100000 医療機器の分類：管理医療機器(クラスⅡ)

*3 販売名：KBTチューブ 一般的名称：歯列矯正用チューブ 医療機器承認番号：223AKBZX00098000 医療機器の分類：管理医療機器(クラスⅡ)

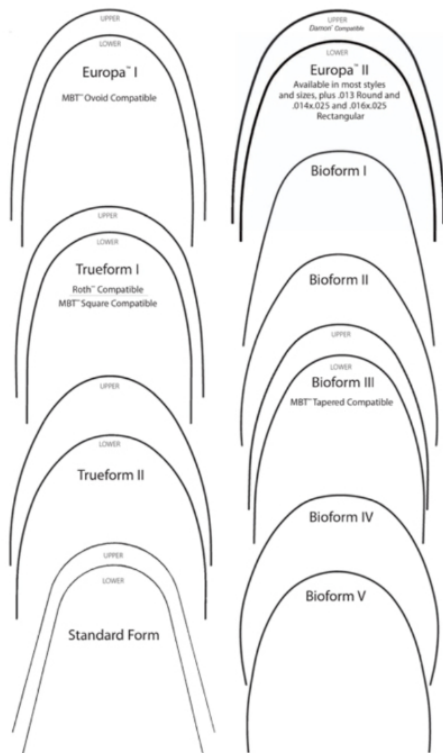
【製造販売】 横手精工株式会社 平鹿事業所
秋田県横手市平鹿町中吉田字下藤根34
TEL.0182-24-1309 FAX.0182-24-1320

【発売】 株式会社 JM Ortho
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水杏雲ビル14F
TEL.03-5281-4711 FAX.03-5281-4716
<https://www.jmortho.co.jp/>

FlexArch

先生方に長年ご愛顧いただいているNi-Tiアーチワイヤー

フレックスアーチシリーズ



TrueForm1, Europ2, Reverse Curve3

日本人のアーチ形状から選定されたTrueForm1をご用意致しております。

ディンプル付き・ディンプル無し、口腔内温度でワイヤーが活性化するサーマルタイプも加わりました。

各タイプのアーチ形状とワイヤーサイズは弊社カタログならびにホームページをご参照ください。



SSには焼入れを施したヒートトリートタイプもご用意致しております

ニッケルチタンワイヤーと同じ種類をご用意しております。各タイプのアーチ形状とワイヤーサイズは弊社カタログならびにホームページをご参照ください。

スプリントウェハー

100枚入り/PK

ブラケットとワイヤーを始めて装着した時やワイヤーの交換時等に痛みを訴える患者さんに本製品を噛んで頂くと痛みを暫定的に和らげます。

また噛む訓練用（MFT）にもお使い頂けます。



トゥースストリッパー

各2枚入り/PK

厚みのラインナップ

* 手動でも電動でもお使い頂けます。

◎シングル(右側用と左側用のご用意があります)
0.32mm・0.23mm・0.19mm・0.17mm

◎ダブル
0.4mm・0.32mm・0.23mm・0.19mm・0.17mm
オープナー



有限会社バルビゾン
☎ 047-460-7818

〒273-0005
千葉県船橋市本町5-8-5アメニティープラザ103
FAX: 047-460-7819
e-mail: info@barbizonortho.com



